

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策I-3-1 地域資源を活用した観光地づくりの推進
---------	-------------------------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	観光振興課長 木次 淳	電話番号	0852-22-6257
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	しまね観光誘客推進事業		
目的	(1) 対象	さまざまな観光ニーズを持つ人々	
	(2) 意図	個別課題に応じた観光誘客対策を進め、島根県への観光誘客を促進することで、観光産業の発展を図る	
事業概要	<p>【高速道路対策】高速道路活用による観光誘客を促進するため、情報発信等を実施する。</p> <p>【閑散期観光誘客対策】冬季を中心とした閑散期の誘客を促進するため、出雲、石見、隠岐エリアごとに閑散期の取組みに対し、支援を行う。</p> <p>【県内地域支援対策】石見地域、隠岐地域の誘客促進を図るため、両地域の取組みに対し、支援を行う。</p>		

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	観光入り込み客延べ数	目標値	33,370.0	33,530.0	33,690.0	33,850.0	34,000.0	千人
	式・定義	毎年の観光動態調査結果	取組目標値						
				実績値	33,171.0	33,082.0			
			達成率	99.5	98.7	-	-	-	%
2	指標名		目標値						
	式・定義		取組目標値						
			実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	244,789	201,345
うち一般財源 (千円)	206,597	185,994

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

## 5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基づいた現状)

<p>【高速道路対策】島根県パンフレット63万部を作成し、高速道路SAや道の駅、コンビニ等で配布した。</p> <p>【閑散期観光誘客対策】圏域ごとの広域観光団体への支援を通じて、冬季の企画商品造成を実施した。</p> <p>【県内地域支援対策】石見・隠岐地域の広域観光団体への支援を通じて、キャンペーンやイベント開催などによる誘客や、メディアを活用した情報発信が進んだ。</p>
--

## 6. 成果があったこと (改善されたこと)

<p>【高速道路対策】高速道路SAや道の駅等で観光パンフレットを配布し、島根の観光の魅力を伝えるとともに、NEXCO西日本のキャンペーン参加者へ県内施設で使えるインセンティブを付与することで周遊を促進した。(利用件数16,700件、立ち寄り先1位：出雲大社)</p> <p>【閑散期観光誘客対策】冬季の企画商品造成により、直接的な誘客につながった。(企画クーポン利用806件)</p> <p>【県内地域支援対策】石見・隠岐地域の広域観光団体への支援を通じて、石見キャンペーンや隠岐でのイベント開催などによる誘客や、メディアを活用した情報発信が進んだ。</p>
---

## 7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

<p>①困っている「状況」</p> <p>【閑散期観光誘客対策】年間を通じて安定した観光誘客を実現できていない (H28入り込み客数 春27% 夏28% 秋25% 冬20%) 【県内地域支援対策】石見地域と隠岐地域は、松江・出雲地域と比較して入り込み客の割合が低い。 (H28宿泊客数 松江・出雲地域77% 石見地域20% 隠岐地域3%)</p>
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <p>【閑散期観光誘客対策】地域毎の特色を活かした冬季の商品開発及びPRが充分でない 【県内地域支援対策】石見地域、隠岐地域は、松江・出雲圏域に比較して観光資源の集積が小さい(観光地が点在している)</p>
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <p>【閑散期観光誘客対策】観光客が減少する冬季に、温泉、冬の味覚等を活用した企画商品造成の強化を図る必要がある 【県内地域支援対策】石見・隠岐地域における自然、風土、伝統芸能、食など独特の資源のさらなる活用を図り、旅行先として選択されるためのPR展開や滞在期間を延ばす取り組み等を実施。</p>

## 8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

<p>【高速道路対策】NEXCO西日本や関係団体等と連携しながら、高速道路を活用した周遊、周遊観光ならではの魅力を様々な媒体を利用して情報発信するとともに、高速道路利用客や周遊観光客向けの各種キャンペーンを展開するなど、引き続き誘客対策に取り組んでいく。</p> <p>【閑散期観光誘客対策】年間を通じて安定的に観光誘客を図れるよう、冬季対策が必要。地元観光素材(温泉、食など)を活用した企画商品造成、PRを継続して取り組んでいく。</p> <p>【県内地域支援対策】(石見)石見地域観光振興協議会が中心となり、石見神楽のブランディング、石東・石央・石西のブロック別プロモーション等を引き続き実施。にぎわい創出としてH28~30に「山陰いいものマルシェ in 石見」開催。 (隠岐)隠岐支庁県民局・隠岐観光協会を中心に、国境離島交付金事業を活用しながら体験型観光促進に取り組む。</p>
---